

株式会社ブラザー

業 種 製造業(金属表面処理加工業)
代 表 者 代表取締役社長 石田 幸兒 氏
所 在 地 川崎市川崎区浅野町3-8
従 業 員 数 49名

企業紹介

無電解ニッケルメッキのバイオニアとして、半導体、液晶製造装置、精密金型メーカーの絶大な信頼を得ています。アルミエンジンへの硬質クロムメッキは、国内最大級の設備と他社には無い特殊技術を持っています。

ホームページ
はこちら



生産性向上に向けた取組

ISO取得による増収増益、工程改善・改革、不良率低下

ISO9001、ISO14001の取得により、大手企業における新規発注先審査が簡素化されたほか、Web上に受注システムを組み込んだことで新規顧客が増加、2019年度7億2千万円から2020年度約8億9千万円と大幅な売上増を実現しました。ISOによるマニュアル化も含め工程改善を奨励、その結果を社員間で共有するなど、ISO取得による生産計画と工程管理の改善・改革が生産性向上に直結しています。

不良解析の取組も進めており、月2回の安全チェック、3ヶ月に1回のISO内部監査、年1回の社外品質環境の合同審査を行うなど、内部監査プラス外部の審査を15年間繰り返すことで、不良率を極限まで縮小しています。

働きやすい職場づくりに向けた取組

福利厚生面の充実

年間休暇取得日数の増加、永年勤続者のリフレッシュ休暇の創設、新入社員が入社後すぐに特別休暇を取得できるよう、就業規則を改定するなど、働き方改革に力を入れています。また、東北・九州など遠隔地からの採用を強化するため、社員寮を新設しました。その他、収益向上分をボーナスとして還元することで、社員のモチベーションが向上するとともに、工程管理の徹底、安全衛生管理、顧客ニーズに対する意識改革が進むなど、一連の取組が業務効率向上と無事故を目指す企業風土につながっています。



福利厚生と人材確保のため社員寮を新設
(2020年2月)

弊社はかねてより、表面処理加工業(メッキ加工)にこそ環境ISOが必須と考え、2004-5年に品質・環境ISOの認証を取得し、その結果お客さまの信頼を得て、増収増益につながっております。生産管理システムの活用により品質管理が飛躍的に向上しました。今後は、現在進めております時間外管理・給与計算・人事管理等のIT化を推進し更なる社員福祉の向上と生産性向上及びSDGsにも取り組み、社員個々人に細かい心配りが出来る働きやすい職場づくりを目指していきたいと思っております。

M E S S A G E

代表取締役社長
石田 幸兒 さん

